

2022年12月発行
 社会福祉法人 ありのまま舎
 (障害者自立企画)
 発行責任者 白江 浩
 編集 集 佐藤 環
 〒982-8544
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1
 TEL022(243)1300
<http://www.arinomama.or.jp>
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)
 2022年12月9日発行 SSKO通巻11242号

2022年重大ニュース 一年を振り返って

第1位 3年以上続くコロナ感染症対策への対応の継続

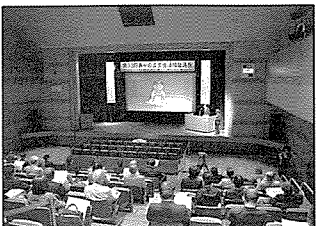
長きに亘りコロナ感染症対策が続いていますが、次から次に変異株が見つかりその特徴や感染力の変化を正確に情報収集し対応を重ねてきました。以前は重症になるリスクが高かったため療養期間が長く設定されていましたが、現在は短縮されました。ワクチン接種についても接種間隔、接種対象者等が流行の状況によって変わり、当舎でも対応に追われました。現在入居者のワクチン接種は5回目でオミクロン株のワクチンを進めているところですが、流行状況、認識がこの3年で大きく変化しました。しかし、ありのまま舎で行っている感染症対策は3年前と変わることはありません。基本的な感染症対策を正確にしつかり続けていくことが一番大切であることを意識し対応しています。



マろ外2万こカ
 い、ちやはくる協
 がは通た対のいま
 う用、け室しとい
 い、着が、居染定て
 洗のす出の間感想だ
 手スクでし間一をたい
 スン出日がとたい

第2位 3年ぶりに生活福祉講座・自立大賞を開催

コロナウイルスの流行で2年間で中止させていた啓発活動を再開することができました。福祉講座では講演をオンライン配信し、パソコンで受講くださった方もおられました。自立大賞ではこれまで対面で行ってきた会議や面談をオンラインで行い、新たな試みにも取り組まれました。今回の経験を活かし、来年度に向けて進めていきたいと思っています。



ありのまま生活福祉講座



第22回ありのまま自立大賞授賞式

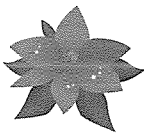
はこれまで対面で行ってきた会議や面談をオンラインで行い、新たな試みにも取り組まれました。今回の経験を活かし、来年度に向けて進めていきたいと思っています。

薫る風

コロナ禍に加えウクライナへのロシアの侵攻、その影響で生じた物価高騰による世界的インフレ、そして様々な分断の深まりの中で、世界中が苦しんだ一年になった。そのいづれも先が見通せないまま来年を迎えることになりそうだ。それ以上に気候変動による深刻な地球環境の変化は全く改善の道筋が見えない。それでも日々毎日、その日その日をいかに生きるのか誰もが考えながら懸命に生きてきた一年でもある。コロナ禍以外にも多くの災害が人々を襲った。もはや災害は日常化している。社会福祉関係事業者においても、パンデミックや災害時でも事業を継続するための計画(事業継続計画) BCPと言われる)策定が義務付けられた。ありのまま舎では既に新型インフルエンザの際にパンデミック対応、東日本大震災後に地震対応のBCPを策定したが、風水害等のBCPも必要となった。その全てについて、見直しと策定を行っている。毎日の業務の中に潜むリスクマネジメント(危険回避を含)も考えると、一日一日生きることが決して当たり前ではないと思う。かつて「明日が必ず来るかは、誰にも保証されていない。今日生きていることを当たり前と思うな」と、亡くなった友人と話していたことを思い出す。世界的な不安定さ(リスク)、災害リスク、日常的なリスクは全ての人々にある。更に病気や障りによるリスクが加わると、生きていくことは奇跡と思う。年末に一年を振り返り、あれこれ思う。そして来年の抱負を考える。しかし、とどのつまり生きていること、そして細やかな喜びや家族や身近な人々との暮らしがあるかどうかではないかと、強く思うようになった。そして、それを実現することこそが最も大変で、大切かを益々強く感じる。今年もご支援ありがとうございました。(白江浩)

第3位 ベトナムからの留学生 受け入れ

5月1日より太白ありのま
ま舎でベトナムからの留学生
2名の受け入れを行いました。
太白ありのまま舎で就労され
た。日本語学校に通いながら
介護福祉士の資格取得を目指
しています。現在は入浴後の
サポート、食事介助など身体
介助も少しずつ増えてきてい
ます。どんな時もあるべく日
本語で対応される姿があり、
いつも謙虚に「私たち勉強頑
張ります。」と前向きに学ぶ姿
勢と人柄は仕事に対する向き
合い方を学ぶことばかりで
す。



各事業所重大ニュース

【ホームケア仙台ありのまま 舎リビングセンター】

3名の新しい入居者が入居
された一年であり、一方で退
居された方もおられました。こ
れまでは体調を崩され入院の
ため退居する方が多かったで
すが、施設入所のため次の生
活の場をご自分で選択され転
居される方がおられました。
様々な生活の場所の選択肢が
増え、いつでも相談できる相
談員さんが対応していること
が大きな変化であると感じま
す。これからの自立ホームの
ヒントを学びました。

(佐藤環)



入居者の方々

【チャイルドケア仙台ありの まま保育園】

保育園では日本の伝統行事
やお誕生会等、様々な楽しい
行事に取り組みました。
今年のクリスマス会は、ハ
ロウィンパーティーで使用し
たピニャータ(南米で子供の
お祭りに使われ、中にお菓子

などを詰めたくす玉人形。そ
れを上から吊るし叩いて割る
ゲーム)からアイディアが出
てきました。ピニャータをみ
んなで叩いて、お菓子を沢山
降ってくるようにしました。
プレゼントは入らないので、
プレゼントの引換券を入れる
ことにしました。そしてサン
タさんのお店を開店すること
になりました。今年は昨年末
までは違った行事を楽しみ
てきました。

(春日麻里)



クリスマスの飾りつけ。
年間を通じ様々な楽しい
行事に取り組みました。

【難病ホス。ピスケア 太白ありのまま舎】

5月からベトナム人留学生
のお二人を受け入れたことが
一番大きな出来事だったと思
います。施設として外国人の
方、それも語学の勉強中の留
学生の方を受け入れるのは初
めのことなので手探りで
スタートでした。言葉の問題、

生活や環境などの違いもあり、
受入側としても不安もありま
した。そんな中でもお二人の
積極的で元気に取り組む姿勢
を通じて、徐々にそれぞれに
慣れていき、現在は限定的で
はありますが、入居者の方の
ケアなども携わるまでになり
ました。職員も初めてのこと
を通じて、良い刺激を受け
ており、これからも一緒に
頑張ろうという雰囲気にな
っています。

また3年ぶりに開催された
茂庭台地区の夏祭りでも打ち上
げ花火を行なうことができました。
地域の皆様や入居者・職
員など合わせて大いに盛り上
がった出来事でした。

(嶺岸智)



3年ぶりの花火
に感動!

【難病ホス。ピスケア 亘理ありのまま舎】

開所から3年が経過し、コ
ロナ禍の中、入居者の満床、シ
ョートステイ利用希望者の増
加等、地域生活支援拠点とし
ての役割が少しずつ形になっ
てきたことだと思えます。入
居の方の3ユニットは、「鳥の
海」ユニットは知的と身体
の障害をお持ちの方等、見守り

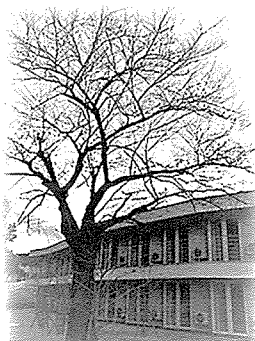
が必要な方。「いちごの里」ユ
ニットは、難病の方、医療的ケ
アが必要な方も生活されてお
り、メデイカルルームも同ユ
ニットにあります。「四方の
風」ユニット(2階)は自立度
が高く、お一人で過ごすこと
の出来る方が生活されていま
す。アクトケア東南(日中活
動)は、コロナ禍で利用者1日
3名までご利用頂いていま
す。お一人お一人の障害の特
徴に合わせて、活動的な体操
散歩、リクリエーション、作業
訓練などをプログラムに行っ
ています。

今後も入居者、利用者
の方々のニーズに合わせて幅広
い支援が出来るように進めて
いきたいと思えます。

(金子仁)



リハビリの様子



亘理ありのまま舎

相談支援事業

【サポートケア仙台ありのまま舎】

今年は、複数の利用者がお亡くなりになったことが何とも言えない思いに駆られ、ショックを受ける出来事でした。相談支援の立場から、もっと何かできることがあったのではないかと自問自答する時間を過ごしました。私たちは多くの利用者の生活全般、そして命に向き合う中で、伴走者としての役割として今何ができるのか、何が求められているのかをしっかりと考えていきたいと思えます。

新型コロナウイルスにも翻弄された状況が続きました。モニタリングやサービ担当者と会議も感染対策から電話やWEBを活用して実施する状況が見られたり、支援者のコロナ陽性により本人へのPCR検査を医療機関と連携しおこなってもらうなど、厳しい状況が現在も続いています。一刻も早く終息し、来年の今頃違った内容で一年を振り返りたいものです。

(齋藤栄樹)

【サポートケア名取ありのまま舎】
今年度は当事業所では初めて、仙台白百合女子大学からの精

神保健福祉援助実習の実習生受け入れがありました。約3週間、面談等に同席してもらったほか、自立支援協議会の各部会等にも参加していただきました。実際にどの程度伝えられているのか不安もありましたが、実習記録を読ませていただき、こちらが意図していた以上に細かいところまで気づき、ご本人の理解をさ

らされたことがわかり安心しました。それぞれの相談員の特徴などもよく見てくれていて、気づかされることも多くあり、事業所としても大変良い経験になりました。

(熊谷経子)

【サポートケア県南ありのまま舎】

今年3月16日深夜に発生した福島県沖を震源地とする最大震度6強を観測した地震。沿岸地域の岩沼市玉浦小学校区を委託相談圏域としている当事業所は発生後から行政と連絡対応を取るなどし、利用者の安全確保のための対応準備を進めました。亘理町の沿岸部同様に避難などの状況に至らず無事朝を迎えられたこと、その後の安否確認でも怪我をする方もなく最終的にとてもほっとしたことを今でもよく記憶しています。

コロナ禍が3年に及ぶ状況では、感染予防対策に気を使いつつながら基本相談支援や計画相談支援で多くの皆様の意向を確認しながら対面での面談電話等での対応などその時々状況判断で支援対応を進めてきました。その時々の中の動きにかかる判断を、スタッフ間でしっかりと共通理解し取り組めたと思います。

(齋藤栄樹)

【サポートケア亘理ありのまま舎基幹相談支援センター】

相談支援においても新型コロナウイルスが拡大は大きな影響がありました。第8波のなか、当センター職員の感染はありませんでした。仙台市内から亘理町に出勤するスタッフもいるため、通勤は電車から自家用車に変更してきる限りの予防策を職員一人ひとりが心がけました。事業継続が滞ることなく遂行できました。今後も「手洗いうがい思いやり」をモットーに感染予防に努めて参りたいと思います。

(菊地理)

今年度も支援ありがとうございました。

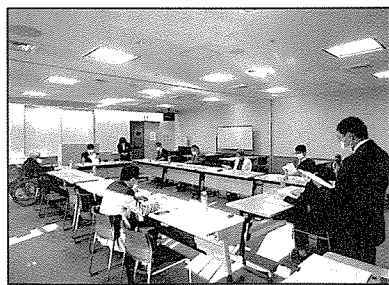
西多賀エリア

【法人本部】

第3回理事会 第2回評議員会 開催

令和4年11月4日(金)に仙台中小企業活性化センターにおいて理事会を、令和4年11月16日(水)に仙台中生涯学習支援センターにおいて評議員会を開催いたしました。

議題としては、今年度の執行状況に関する補正予算のご審議をいただきました。資金面での質問や補助金の仕組みなどの質問がありましたが無事ご承認賜りました。また、10月の育児・介護休業法の改正に合わせたご審議もいただきました。対象者の有無や取得状況などのご質問もあり活発な議論をいただきました。こちらもご承認賜りました。その他には議案とは別に



11月4日(金) 理事会



11月16日(水) 評議員会

新職員の紹介を行い、5月から入舎されたベトナムからの留学生のグン・ティ・グエットさんとグエン・ティ・ミン・グエットさんお二人の紹介と自己紹介も行いました。徐々に慣れつつある日本語での自己紹介に温かい拍手や頑張ってお声がけもあり、良い機会となりました。

また、評議員会では今回から新たに岩城彰評議員と工藤清美評議員のお二人が加わったこともあり、出席者の自己紹介と欠席された方の簡単なご説明もさせていただきます。長らくご尽力賜りました栗田啓二監事のご退任を受けて、その後任の監事の選任に関してご審議賜り、新たな監事として戸田博雄監事(税理士)のご承認を賜わり、新たな体制としてスタートすることとなり、補正予算の審議と報告事項も合わせて無事に承認賜り、無事に終えることが出来ました。

(嶺岸智)

【ホームケア仙台ありのまま舎り
ピングセンター】

毎月一回法人で開催されている
拡大防止感染対策委員会に参加さ
せて頂き各事業所の報告、課題、今
後の対策について情報共有してい
ます。特に重度の方が生活をして
いる太白ありのまま舎(障害者支
援施設)での感染症対策の考え、
取り組みはとても参考になってい
ます。外出や面会の基本的な対応
は同じですが、医療的ケアが必要
な方が生活しておられるためより
緊張感をもって対応していること
を感じています。また感染症対策
においても手洗い、うがい、手指消
毒、マスクの着用、ゾーニング対応
など根拠を持ったやり方をメディ
カルスタッフが中心となり定期的
な勉強会を実施しスタッフが一統
した認識で行っているため意識の
高さを字ばせて頂いています。

【サポートケア仙台ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

計画相談支援を利用いただき
仙台市内のグループホームで約
2年間の生活を実践しているK
さんを訪ね、モニタリングをさ
せていただき生活状況などをお
聞かせいただきました。宮城県
南の地域で生活をされています
が、元々仙台市内に住んでい
たこともあって、仙台での生活
の場確保を希望されて現在に至
っています。

日中の楽しみは、自分で近所
の散歩ルートを考えてぶらりと
散歩すること。当初は、歯科に
行かなきゃとか自分でやらない
といけないことを探していたよ
うですが、現在は定期通院以外
の外出はもっぱら散歩のよう
です。歩くことで、「こんなお店も
あるんだ。」といった発見もあり
地域を覚える楽しさにもつなが
っているようで、楽しくお話を
伺いました。

支援者としてはどうしても日
中活動の場を求めていくような
流れで問い合わせしがちですが、
本人にとつての今の暮らしのリ
ズムが心地よさにつながってい
て、気持ちの安定にもつながっ
ていると思うと、「何かをしても
らおう」とか「目標を持つても
らわない」といった支援者とし
ての押し付けになってはいな
いかとの振り返りになります。

(齋藤栄樹)

茂庭合エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎
(メディアカル)】

現在新型コロナウイルス感染
者が急増し第8波が到来してお
ります。年末にはピークを迎え
るのではないかと懸念され、油
断できない日々が続いている状
況となっております。国内では
行動制限がない状況になり、施
設ではどのような対応や措置を
とって乗り越えていくかが求め
られています。

そのような状況下、太白あり
のまま舎ではここ数年、万が一
に感染した場合に備え、ゾーニ
ングの方法やPPEのシミュレ
ーション、体調不良時の初期対
応方法など何度か勉強会を開催
してきました。今年はいんフル
エンザ、ノロウイルス感染症と
のダブル、トリプル感染も懸念
されており、再度インフルエン
ザやノロウイルス感染症に関し
ての勉強会を追加して、職員全
員が対応を再確認し感染拡大に
備える準備をしています。

施設内では職員のみならず、
抵抗力の弱い入居者の方、面会
者、業者など、様々な方と関わ
る場です。今後も油断せず感染
対応を継続し、万が一何かあつ
た場合でも職員一人一人が不安
なく役割を担えるよう繰り返し
勉強会を行なっていきたいと思
います。

(森麻衣子)

【チャイルドケア仙台ありのま
ま舎保育園】

朝、お布団から出たくない寒
さとなつてきました。大人も子
どもも起きるのに気合が必要で
すね。

大人はなんとか起きることが
できますが、小さな子どもたち
はすぐに動くことは少し難し
いですよね。忙しい朝ですからま
だ目が覚めていない状態で着替
えやご飯と、つい急かしてしま
うこともあるのではないでしょ
うか。そしてイヤイヤと泣いて
しまう。朝からお互いに辛い状
況ですよ。様々な工夫をされ
ている家庭も多いでしょう。

身体が温まらないと、やはり
子どもたちもなかなか動かせ
せん。でもゆっくり待つてあげる
時間もない時は、温かいタオル
で手から拭いてあげましょう。
急に顔から拭かれると驚いて
嫌がって泣いてしまい、結局機
嫌が悪くなってしまうことも。

園では寒い日はお湯で手を洗
いますが、子どもたちは「あつ
たかい」と気持ち良さそうに
しています。手を温めることは
神経を程良く刺激し血液の循環
を促します。そうして身体が温
まると気持ちよく目を覚ますこ
とができます。

目覚めが悪い朝、試してみ
てくださいね。

(春日麻里)

名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎
(難病・障害者相談支援センター)】

今回は知的障害のあるKさん
にインタビューをしました。K
さんは支援学校の高等部を卒業
後、障害者枠の一般就労で清掃
業に就いています。

一、楽しみにしていること
「休日に友達と遊ぶことです。」
休日は支援学校高等部時代か
らの親友と一緒に過ごしてい
ることが多いKさん。最近、
松島でハゼ釣りをし、その場
で焼いて食べたことを教えて
くれました。

二、頑張っていること
即答で「仕事です！」と答え
ていました。支援学校を卒業
してすぐに現在の清掃の仕事
に就いたKさんですが、入職
当初より体力がついて、疲れ
たり、体調を崩したりするこ
とも少なくなつたと話してい
ました。

三、目標について
「一人暮らしと車の購入です。」
友人が一人暮らしをしており、
イメージを沸かせながら、一
人暮らしや車の購入の資金を
コツコツ貯めるよう努力して
います。
目標を持つて一生懸命仕事を
頑張っているKさんが理想の生
活に近づけるよう、今後もサポ
ートしていきたいと思えます。

(澤田石裕子)

巨理エリア

【難病ホスピスケア巨理ありのまま舎】
【栄養マネジメント】

冬も近づいてきてインフルエンザが流行する季節となりました。体調を整えるためにもバランスの良い食事、適度な運動、十分な休息が大切になります。食事をとる際、旬の食材は栄養価が高く体にも良いとされています。

巨理ありのまま舎では12月1日に秋の旬の食材でもありません。鮭といくらを使った巨理町の郷土料理「はらこ飯」を提供しました。「はらこ飯」とは炊き込みご飯の一種で醤油やみりんなどと一緒に鮭を煮込んだ煮汁で炊き込んだごはんの上に、鮭といくらをのせるご飯になります。利用されている皆さんがなかなか外出等できない中で巨理町の季節の料理を召し上がっていただき、少しでも気分転換になっていたいただければと思っています。はらこ飯を提供することを利用されている方へお伝えすると



巨理町郷土料理「はらこ飯」

「食べるのが楽しみ」と言っていただけでした。施設としてもはらこ飯を提供することが初めてになるので、これが毎年の行事食になればと思っています。皆様も巨理町にいらした際はぜひ「はらこ飯」を召し上がってみてはいかがでしょうか。
(坂本朋絵)

車椅子寄贈に感謝

この度巨理町にお住まいの石田博美様より、電動車椅子をご寄贈いただきました。

電動車椅子は以前ご家族が使われていたもので、数回のみ乗られてお亡くなりになりました。ということでした。使って頂ければご本人も喜ぶと思うということで、今回頂戴いたしました。外部利用の方々の車椅子として、電動車椅子の運転練習をしたい方に使って頂く等、大事に使って頂くと考えております。貴重な電動車椅子を頂き、誠にありがとうございます。
(金子仁)



大切にに使わせて頂きます。

【サポートケア巨理ありのまま舎 基幹相談支援センター】

基幹相談支援センターでは「福祉出前講座」という事業があります。障害のある方が住み慣れた地域で安心して暮らすために、地域で支援を行っている方々が困難を抱えていることがあり、巨理町の皆様を対象に、少しでも支援に役立ててもらおうと目的で行っています。今月巨理町内の事業所様から依頼を受け、「虐待防止・権利擁護を考えよう」というテーマで講話をさせて頂きました。テーマの他に「心のケア、利用者さん・保護者の方への関わり方、実際の支援へと繋がるもの」についても話して欲しいと要望がありました。資料を活用しつつ、具体的な事例や関わり方のポイント等をお話しさせて頂くことと、今後の支援の参考になった」とのお話を頂きました。

事業所内で難しいケースを抱え悩む傾向がある、とのお話がありました。私自身同じような事業所に勤務時に同様の悩みがあったことを思い出しました。困った時に相談にできる機関があること、連携してチームで関わることで事業所さんの負担が軽減し、より良い支援に繋がられること等、「支援する方々への支援」も行っていきたいです。
(相澤誠一)

【サポートケア県南ありのまま舎 難病・障害者相談支援センター】

岩沼市では毎月行政、委託・計画相談支援事業所の間で情報共有会議を開催し、委託相談支援4事業所の支援の動きを共有し、また各所で持っている地域の新たな社会資源等の情報を共有することで、相談支援事業所を利用される方がどの事業所を利用しても不具合なく支援を提供できるようにすることの場づくりを行っています。11月は勉強会を行いました。テーマは「マイタイムライン作成の勉強会」。マイタイムラインとは、「いつ・どこに・どのように」避難をするのか、一人ひとりがあらかじめ決めておく防災行動計画です。東日本大震災以降も大規模な震災、水害等の甚大な被災が発生しており、もはや想定外という言葉が通用しない昨今の状況を踏まえ、岩沼市防災課を講師に、まずは相談支援専門員が実践してみることで、障害のある方に還元していこうとの取り組みを行いました。

自分の住んでいる地域の安全性や、いざという時の備えをまずは自分事として学ぶことで、今後の個別避難計画の作成のお手伝いにつなげていくことになっています。「マイタイムライン」については、岩沼市のホームページからご覧いただけます。
(齋藤栄樹)

レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100
法人営業部 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本 町	店 022-224-0100	卸 町	店 022-237-0100	仙 台 空 港	店 0223-22-0100	新幹線くろこま高駅	0228-21-2100
交 通 局 前	店 022-221-0100	高 砂	店 022-254-0100	柴 田	店 0224-57-0100	石 巻 駅 前	店 0225-21-7007
仙 台 駅 西 口	店 022-213-0100	鹿 野 2 8 6	店 022-246-0100	新 幹 線 白 石 蔵 王 駅	店 0224-22-0252	石 巻	店 0225-22-0100
仙 台 駅 東 口	店 022-293-0100	泉 中 央 駅 前	店 022-372-0100	新 幹 線 古 川 駅 前	店 0229-23-0100	気 仙 沼	店 0226-22-0100

新型ウォクシー(車いす仕様・電動スロープ車)
その他ウェルキャブもラインナップしております。

「ご支援頂きありがとうございます」
「ございました(敬称略)」

【書き損じはがき等】

【バザー提供】

22 10 / 27 / 11 / 25

皆様からのご支援に感謝申し上げます。ありがとうございました。

(川尻誠)



【バザー開催日のご案内】

《2023年1月》

5日(木) ヨークマルシェ大和町店 (若林区)

10日(火) ヨークヘニマル南吉成店 (青葉区)

12日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)

17日(火) ヤマザワ茂産店 (太白区)

26日(木) 鶴ヶ谷生鮮いちば (宮城野区)

28日(土) ありのままショップセル (仙台ありのまま舎)

31日(火) 篠原(向日菱ライフ サポートセンター・太白区)

バザー品を

集めています!

◆日用雑貨 ◆新品小物

◆タオル類

◆お歳暮品(日持ちする食品、洗剤等) など

バザー会やありのままショップで活用させて頂きます。

仙台市内は毎週水曜日に回収に伺います。

電話 022(243)1300

お気軽にご連絡

ください。



ありのまま舎後援会 (敬称略)

【自販機設置支援】

◆サントリーストリービレッジ

10月分の売上の一部をご寄付頂きました。

こくみん共済coop

宮城推進本部 1,352円

ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア

県南・亘理ありのまま舎)

13,450円

【後援会員募集】

◆年間会費

・個人会員 10,000円

・法人会員 20,000円

・賛助会員 3,000円

※途中退会も可能です。

ご不明な点はお気軽にお問合せください。

022(243)1300

「協力ありがとうございます」
「ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台南高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の東一番丁教会と東教会の皆様、感染対策をとりながらお手伝いいただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただいています。ショップセルの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

【太白ありのまま舎】

◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会」(書道) ◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」

◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただきます。

十月より新たに会報発送の担当となりました。ヴォランティアの皆様と直接やり取りをする機会も増え、改めて毎月たくさんの方々のお陰で会報をお届け出来ているのだと実感しました。本当にありがとうございます。

(森島奈巳)

贈る人 贈られる人の気持を大切に...



FLOWERED

花のフラワード



オンラインショップでは
24時間ご予約承ります。

<http://www.flowered.jp/>

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411